

講義名	現代世界史		
科目区分	教養科目		
担当教員	小野 達哉		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

第一次世界大戦後から現在にいたるまでの世界史概説。20世紀とはどのような時代だったのか。また21世紀とはどのような時代になるのか。本授業では、激動の世紀であった20世紀のうち、第一次世界大戦以降の世界の動きを概説する。

到達目標

- ・現代世界史の基本的な流れを理解する。
- ・第一次・第二次世界大戦の衝撃、東西冷戦構造、ポスト冷戦などの基本的な現代史を理解する。
- ・20世紀世界史が、現代の世界とどのように結びついているのか、考察できるようになる。

提出課題

- ・毎回授業中に小テストを実施する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

- ・原則として小テストは返却するつもりだが、受講学生の人数が多数に上る場合それが不可能になることをお断りしておく。

評価の基準

- ・平常点30% + 期末試験70%

履修にあたっての注意・助言他

- ・受講に不安を感じている学生は、世界史の教科書が参考書を何か1冊、授業に持参してくるとよい。

教科書

- ・使用しない。

プリント資料及び参考文献

- ・プリントを配布する。
- ・参考文献は授業中に随時紹介する。

授業計画

- 1 現代史とは何か
- 2 第一次世界大戦
- 3 つかの間の平和
- 4 ヒトラーの台頭
- 5 第二次世界大戦
- 6 冷戦の始まり
- 7 ソヴェイトとスターリン
- 8 ベトナム戦争
- 9 1968年
- 10 冷戦終結
- 11 中華人民共和国
- 12 ポスト冷戦
- 13 イスラエルの建国
- 14 テロとの戦い
- 15 まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・予習：次回講義のキーワードを辞書等で調べておく（120分程度）。
- ・復習：プリントの見直し、空欄の穴埋めを確認する（90分程度）。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

- ・受講に当たり、予備知識はとくに必要としないが、歴史全般に興味をもってほしい。